



神戸ミュージアムロードアイデア

私自身が、神戸で芸術活動を始めたのは、約26年前、これまでに様々なアート系の全国公募で賞を受賞してきた。その一部をA3用紙2枚におさめた。その作品の表現手法は、ちぎり絵、油彩画、水彩画、色鉛筆画、クレヨン画、CGイラストレーションなど、様々、作風もまた様々、これらは、少し前から話題となっているAIに対抗するための作品。様々な画材を使い、様々な作風の作品を描くことで、ネット上に作品がアップされ、AIであつてもどの作品がこの人の本当の作風なのかということをあえて学習できないようなバラバラの作風に仕上げた。そこで私は「AIに勝ち続ける芸術家」として活動をしている。その技術力のおかげで、これまでに100以上の様々な全国公募で賞を受賞したり、評価されてきた。

AIに勝ち続ける芸術家としての作品をより、面白く見てもらうにはどうすればいいだろうと考えた。ドローンにプロジェクターを搭載し、人を追跡する機能を応用し、そのエリアに入った人を全員追跡する。それも追尾する対象の人との1距離をメートルほどに保ち追跡する。そして、プロジェクター1台1台に私の作品を地上に向かって映し出してもらう。そうすることで、私の作品は、どうなるか。地上に設置されたものにそう形で映し出される。そうすることによって、歩行者の皆さんは、普段壁に飾られるはずの作品が物体にそう形で表現された作品を見ることになる。二人で協力すれば、踏んづけたり、座ったりすることももちろん可能だ。中には、作品がついてくることを楽しむ人もいるだろう。

今までに誰も見たこともない私が想像した展示場所を自分たちの好みに調整できる新しい美術館とも言えるかもしれない。(このエリアの人の背丈よりも高いものをできる限り取り除き、高さを調整したり、上空から投影されることで、おもしろい表現になると予想される形状のものをたくさん設置する必要は出てくる。その例は、積み木のような形。例としては、円錐や円柱階段状のもの。この空間を存分に楽しんでもらいたい。

